



松田美恵さんの絵

第378回例会 1966.11.15 (火) 小曇、後雨

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや (2) 0707・2838番

事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775番

BETTER WORLD
THROUGH ROTARY
(ロータリーでより良き世界を)

出席報告

本日の出席 会員数 58名
出席数 39名
出席率 67.24%

前回の出席 前回出席率 68.97%
修正出席数 52名
確定出席率 89.66%

欠席者 荒明君、長谷川君、八丁目君、金井君、菅原君、五十嵐(三)君、五十嵐(一)君、海東君、笹原君、嶺岸君、三井(徹)君、松田君、佐藤(寅)君、新野君、大野君、斎藤(得)君、斎藤(信)君、高橋君、辻君

メソッド

阿部(公)君、石黒君、千葉君、小池君、早坂君、森田君、佐藤(忠)君、佐藤(伊)君、手塚君、鷺田君一鶴岡西RC
林君一酒田RC
長谷川君一東京東RC

ピジター

本間義勝君一酒田RC
工藤繁雄君一鶴岡西RC

ソング

奉仕の理想 リーダー 三井(健)君

司会

会長 早坂 源四郎君

連絡事項

☑ 会長報告

1. 本日例会終了後理事会開催
2. クリスマス家族会実行委員委嘱(委員長)新穂君(委員)八丁目君、笹原君、三井(健)君、千葉君、小池君三井(賢)君、松田君、平田君、森田君、藪田君、五十嵐(三)君、手塚君、飯白君、実行委員会は17日正午～午後1.30 於殖産銀行ホール 次の例会に企画案を発表、諸準備を進めて戴きたい。
尚西クラブと合同開催の場合は西クラブから委員を4～5名入れて戴きたい。
3. 恒例のクリスマスカード110通程、会長名で諸外国のRCに出しました。

☑ ロータリー財団について 早坂会長

- 私も余り良くわかってませんが、知っている範囲内に於てお話し申し上げます。私が今日この事について申し上げるのは皆様御存知かと思いますが、11月13日から1週間ロータリー財団週間に当たっているからです。そこでその概要だけ簡単にお話します。特に今年11月より1ケ年はロータリー財団創立50周年に当たっているようです。世界各地のRCではその記念行事をやって居ります。実は昨日アイリーンが秋田ロータリーフェローを集めた会合に招待を受け行って居ります。長井RCからも15日招待を受けましたが先約があったためおことわりしています。
- ロータリー財団は世界中のRCロータリアンの寄附によって維持されているのでございます。……組織については略……その活動について申し上げますと昨年1

ケ年に寄附された金額は100万弗以上(邦貨にして3億6千万円以上)であります。1947年(約20年前)から現在まで他国に行って大学院課程奨学生として奨学金の授与を受けた数は約2,300人、その額約600万弗となっております。最近授与されました(1967年~1968年分)明年度の奨学金の授与者は160名50万弗で邦貨にして1億8千万円1人当110万円授与している事になります。

○次に私どものRCではこの財団にどのようにして協力しているか……皆様ご存知の通り本年度の予算書を見ますとRI負担金と云う項がありますが、それは新入会員1人10弗と全会員1人1弗の割で計上しているのです。本来は自由な寄附によってまかなわれるべきなのですが、地区からの要請もあるためこの様に当RCでは予算に組んでいるわけです。1人当り10弗になると100%クラブになるわけです。他に毎年1人1弗宛寄附し10年経過しますと200%クラブになるわけです。当クラブは6月30日現在54名で寄附額が1631弗で353地区では唯一つの300%クラブであります。352地区では青森RCが300%クラブで東北全体ではこの2RCだけでございます。以前は100%クラブを維持していた当RCが300%になったのは張前会長が個人的に多額の寄附をされた為であり、この点張君のロータリーに対する並々ならぬ情熱と財団に対する御理解の深さに厚く敬意を表するものであります。会員にかわり深謝申し上げます。尚会員が5名増えて居りますので、300%維持するには今年少くとも150弗以上寄附しなければならぬこととなります。

○ロータリー財団の目的は異なる国々の人々の間に理解と友好関係を増進すると云う事にあります。国際奉仕活動の一端と考へてもさしつかえないかと思ひます。従つて具体的に申し上げますと大学卒業生、大学院在學生を1年間海外に留学する為の奨学金を与えるという事です。その制度は近年男子のみに適用され、女子には一時中止になってましたが、1968年~1969年については再び女子にも適用されることになりました。この奨学金制度の他に或る特別の指定された国(日本を含む言葉のむずかしい様な国)に留学する場合の追加奨学金制度があります。それから今年度新たに設けられたものに大学在學生(女子を除く)にも出すと云う事です。その他研究グループの交換で異なった国が互に青年実業家並びに専門職業人からなるグループを編成し、交換研究するという事に対する補助金、このことで国際理解を深めようと云うものです。次に専門的訓練の為の補助金でこれは他の国で研究する事によつて技能を磨かせる事を目的とするもので、25才から35才までの男性で1年間ということになってます。例えば底開発国の人が先進国に行ってセメント技術や印刷

技術、それから木工技術の訓練をやるという様に技術勉強の青年に補助金を出す制度です。

○ロータリー財団の事業は唯今申し上げた様に国際理解と友好関係を促進することに目的があり、大学生に自国以外で勉強する奨学金を授与することが主力のようです。以上概略申し上げましたが、財団に対する協力とともに我々としては、その恩恵に浴することも必要と思ひますので、この地域に於ても該当する青年が一人でも多く出る様にしたいと思ひます。国際奉仕委員会はその手続き等よく勉強されまして、ロータリーフェローを出す様に戴きたいと思ひます。

❖ 鹿児島クラブを訪問して 林 君

11月の始めに会議(国立高専校43校の校長会)の為鹿児島に行つて参りましたが、時間の都合で姉妹クラブの西鹿児島RCには出席出来ませんでした。会議の終了後たまたま鹿児島RCの例会があり出席しましたが、やはりロータリー財団について話されていた様です。東北に比べ非常に温かく朝、海岸に出ても単衣だけで寒くないようでした。

会議に呉と松江の校長(何れもインターアクトクラブ校)が居りましてインターアクトについてそれぞれ意見を聞いて参りました。それから西鹿児島RCの芝山先生にもお会いしお話を伺つて参りましたが、その他各地の資料等を見て考へますことは、米国とは相当違つて居り、日本的なものでなければと思ひました。

それから鶴岡の場合一つの学校では仲々むずかしいので地域としてのインターアクトを考へて見たらどうかと思ひます。庄内日報の11月1日号『明るい街づくり』のところに鶴岡の高校生が公共施設の清掃活動と云う記事がありました。他のインターアクトクラブでも結局はこの程度の仕事しかやってないことです。

国際理解を深めるといふ点までは、まだまだという事です。それから廃品回収とかバザーは大體ロータリアンの家庭をまわつてるようです。そこから費用を出す或はアルバイトと云つた面もありますが、兎角學生は環境に左右される事が多く、色々悪い面も出ますので学校側或はインターアクトクラブ委員会等が常に見守つてやらなければならないと云う事です。要するに大した事も出来ないがマイナスにもならないと云つたところ。それから学校に於て生徒会の一部間にするかどうかと云う問題ですが、これは正式には出来ないわけですが、しかたない事で、従つて生徒会の費用の一部を充当する処もあるようです。この点鶴岡の場合どのような方向に持つて行くのか、皆様の御意見をお聞きしまして考へたいと思つております。

❖ 幹事報告

会報到着 本庄RC、郡山RC、新発田RC

休会の知らせ 酒田RC宮内RC11月23日祭日につき